

News

「(仮称) アイ ミッションズ パーク市川塩浜」に着工

新日鉄住金エンジニアリング 延床面積約6万m²の大型物流施設。計2棟の大型施設は竣工

新日鉄住金エンジニアリング（本社：東京都品川区大崎、藤原真一社長）は、伊藤忠商事から受注した大型物流施設の「(仮称) アイ ミッションズ パーク市川塩浜」の建設工事に着工した。同社はS造による大型施設の受注が活発で、大阪府堺市に建設中の物流施設「ロンコプロフィットマーケット堺」と愛知製鋼岐阜工場内に建設中の「新パワーカードリードフレーム工場」がこのほど相次いで竣工した。

「(仮称) アイ ミッションズ パーク市川塩浜」は、千葉県市川市千鳥町に建設する地上4階建て、延床面積約59,000m²、鉄骨量約6,300tのマルチテナント型物流施設で、同社が設計施工一式で請け負った。同社製の耐震部材「アンボンドブレース」を採用した耐震構造で、引張・圧縮共に同性状が安定した履歴特性を持ち、地震などの揺れに対して優れた耐震性能を発揮する。竣工は2019年8月の予定。

「ロンコプロフィットマーケット堺」は、地上2階建て、延床面積約20,000m²、鉄骨量約1,200tの物流施設。制振部材「アンボンドブレース」を計32本配置して耐震性能の向上を図ったほか、同社独自の構造設計ノウハウとシステム建築商品「スタンパッケージ®」の標準化技術を組み



建設工事に着工した大型物流施設「(仮称) アイ ミッションズ パーク市川塩浜」

合わせた「NSスタンロジ®」の同社元請け施工一号案件で、躯体数量削減によるコスト低減、工期短縮（施工期間約7カ月）などを実現した。

「新パワーカードリードフレーム工場」は、愛知製鋼岐阜工場内に建設した延床面積約7,500m²のS造による大型工場で、「スタンパッケージ®」や独自の空調システムを採用し、建築環境総合性能評価システム、CASBEEAランクの環境（断熱性、遮音性、省エネなど）を実現した。

新日鉄住金エンジニアリングは、制振部材、システム建築商品などの独自技術、商品を活かした鋼構造分野で大きな強みがある。特に物流施設は得意領域の一つとして実績を重ね、この10年間における同分野の受注実績は、延床面積ベースで延べ約220万m²に上る。

同社は今後も「鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かした商品・技術の提供を通じ、安心・安全な社会の実現に貢献する」方針。



物流施設「ロンコプロフィットマーケット堺」



愛知製鋼「新パワーカードリードフレーム工場」